

市議会だより さつて



9月27日(土)に建設中の圏央道幸手インターチェンジの現場見学会が行われました。多くの方が見学に訪れ、間近でみる圏央道の大きさに感心していました。

9月定例会のおもなことから

- ・ 一般会計、特別会計決算2~4ページ
- ・ 各常任委員会での審議5~7ページ
- ・ 市政に対する一般質問8~15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記16ページ

No.72
2014年
11月

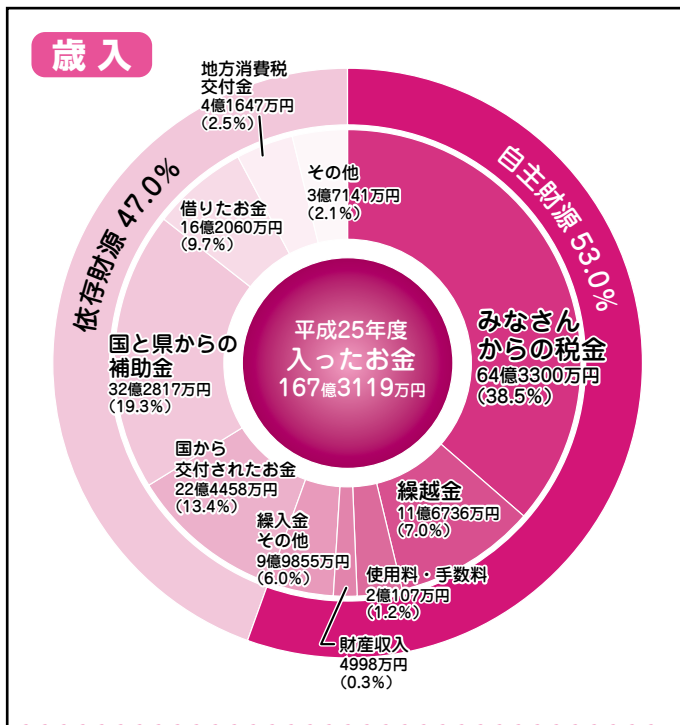
平成25年度一般会計決算を認定

9月定例会

市の主要施策を検証

歳入総額 167億3119万円 (前年度比0.5%減)

歳出総額 154億3294万円 (前年度比1.3%減)



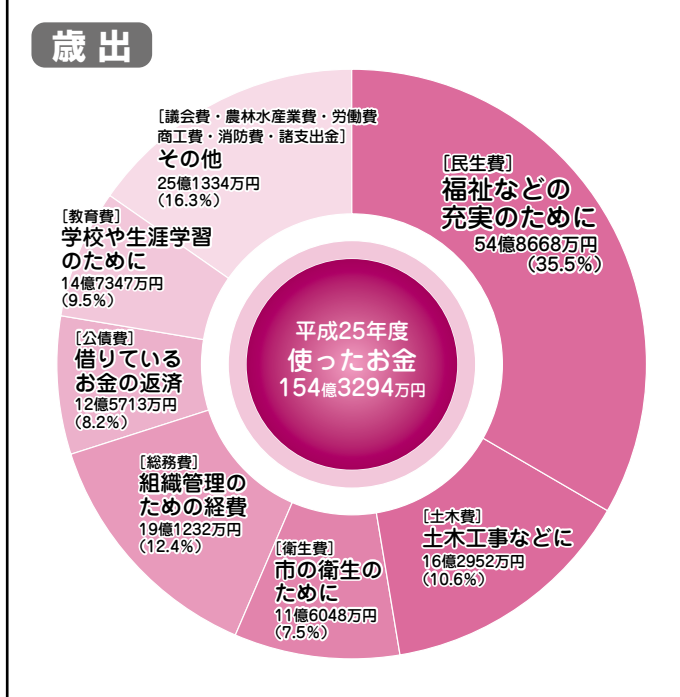
歳入

自主財源である市税は、64億3300万円。法人税の減少があったが、たばこ税の増(税率改正)により、税収は前年度より0.1%の増となりました。市税の収納率(徴収)は95.07%と、前年度より1.6%の増となりました。また、収入未済額、不能欠損額が減少しています。国からの地方交付税は約1億円の減となっています。

9月定例会は、9月1日から9月26日までの26日間にわたり開かれました。市長から平成25年度一般会計・特別会計決算の認定7件、条例関係9件、市道路線の認定・変更・廃止の3件、区域外道路の認定の承諾1件、一般会計・特別会計の補正予算7件、工事請負契約の締結1件、水道事業会計未処分利益剰余金の処分1件、及び人事案件2件が提案され、いずれも原案どおり認定・可決・同意しました。

また、議員提案による「手話言語法」制定を求める意見書を可決しました。

一般質問では、14人の議員が質問に立ち、市政をただしました。



市税の前年度比較

区分	平成25年度 決算額	平成24年度 決算額	増減率
市民税	3,087,686	3,120,083	△1.0
固定資産税	2,551,502	2,552,959	△0.1
軽自動車税	82,142	78,623	4.5
市たばこ税	432,189	395,050	9.4
都市計画税	279,478	281,764	△0.8
合計	6,432,997	6,428,479	0.1

平成25年度特別会計決算

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険特別会計	80億1882万円	75億 375万円
後期高齢者医療特別会計	4億4455万円	4億3521万円
介護保険特別会計	29億 289万円	28億2578万円
農業集落排水事業特別会計	3139万円	2924万円
公共下水道事業特別会計	10億1688万円	9億6099万円

幸手市が取り組む「ふるさと納税」は、県内、県外を含め2067件、寄附金額は2550万円となり、平成24年度より2.9倍と大幅な増となりました。

ふるさと納税

寄附金は
2550万円

前年度より2.9倍

安全・安心なまちづくり

○防災行政無線更新事業

防災行政無線（固定系）更新事業（アナログからデジタルに）災害時に防災情報を正確、迅速に市民へ伝達。全国瞬時警報システム（J-ALERT）と連

歳出

平成25年度の歳出をみると、構成比35.5%をしめる民生費がトップで、次に総務費、土木費、教育費の順となっています。

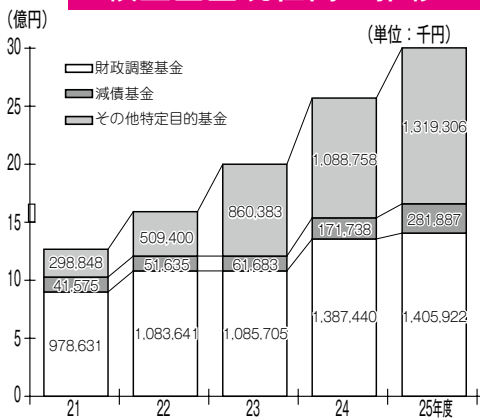
平成25年度ふるさと納税

	件数	寄附金受領額
県内	286件 (93)	4,176,000円 (2,268,000円)
県外	1,781件 (610)	21,325,801円 (6,483,510円)
合計	2,067件 (703)	25,501,801円 (8,751,510円)

() 内は前年度

寄附者には、幸手産のコシヒカリを記念品として贈りました。

積立基金現在高の推移

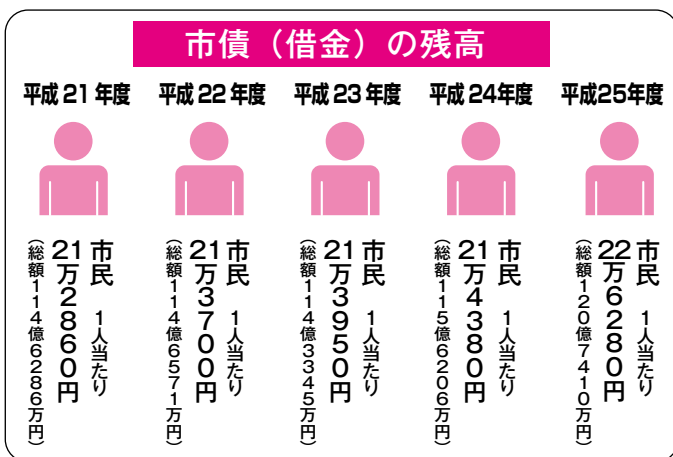


○小・中学校屋内運動場安全対策事業
市内小学校9校、中学校3校の全屋内運動場の非構造部材の落下防止対策として、バスケットゴール、照明器具等の取り付けを補強し危険回避を図りました。また、照明灯をすべて消費電力の少ないLED化。

○橋りよう長寿命化
橋りよう長寿命化調査設計業務委託。古川橋（下吉羽）の地質調査および予備設計業務。老朽化橋りようの長寿命化。

動し、24時間自動で緊急情報を提供。また、子局104か所の更新および子局を4か所増設。

市債（借金）の残高



賛成討論
・小林 順一 議員
・小河原浩和 議員
・大久保忠三 議員
3人による賛成討論が行われました。

平成25年度一般会計決算討論

学童保育室新設

学童保育室たんぼぼ（長倉小）の児童数増加から、安全な生活の場を確保するため、西中学校のプレハブ教室を改修しました。

子ども・子育て支援法制定による市の基準を定める

幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を可決

子ども・子育て支援法の制定による児童福祉法の一部改正に伴い、条例において新たに放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定めました。



学童保育



幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を可決

子ども・子育て支援法の制定による児童福祉法の一部改正に伴い、新たに家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業および事業所内保育事業の設備および運営に関する基準を定めました。

幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例を可決

子ども・子育て支援法の制定に伴い、新たに特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めました。



保育所

幸手市子育て応援基金「3億円積立金」条例を可決

子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図るため、幸手市子育て応援基金を設置しました。



し尿処理施設基幹的設備改良工事7億8084万円の工事請負契約の締結についてを可決

し尿処理施設は、昭和57年度に稼動してから32年が経過し、施設の延命化を図ることから、基幹的設備改良工事を行います。工事内容は主処理設備工事他です。



意見書案1号「手話言語法」制度を求める意見書を可決

平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全ての障害者は、可能な限り、言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められています。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定することを求める意見書を幸手市議会として「賛成全員」で可決され、衆参両院議長等に送りました。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

松田 亮 氏

を選任することに同意しました。

監査委員

小林 清春 氏

を選任することに同意しました。

総務常任委員会

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第40号)

問 埼玉県で宮代町と1位を争っている「ふるさと納税」だが、平成25年度の支出内容は。

答 ふるさと納税記念品として平成25年度の幸手産コシヒカリの新米15キロを精米し、発送している。平成25年度記念品支出として1861個発送(平成25年度総額は2067件あるが平成26年1月～3月分は平成26年度対応)し、記念品費として837万4500円、発送費は135万4715円である。

問 基金積立金として、いくらなるのか。

答 財政調整基金、減債基金、その他の特定目的基金、定額運用基金等全ての総額で平成25年度末、30億3301万9千円となる。

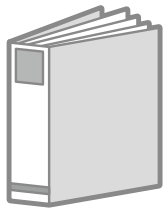
問 公債費について、前年より減

少しているが、積立基金は増えなお金があれば償還してはどうか。

答 借り入れ自体は、近年低利なものを行っている。繰上償還については、期間や繰上償還に制限があり、金利が3.5%、4%などのももあるが、金額も大きくなく、あと数年で解消していくものと考えている。

問 監査の結果によると、執行率が3.3%下がり、90.3%となっている。執行率に対する財政課の評価はどう考えているのか。

答 執行率90.3%という数字からすると良い評価ではないと考えている。しかし、執行率の求め方自体が、現計予算から歳出執行額より求められる形となっており、平成25年度は繰り越しが約9億円もあり繰り越し額が大きくなれば、執行率が下がらざるを得ない。



平成26年度幸手市一般会計補正予算 (第2号) (議案第61号)

問 クラウド事業およびペイジー事業の内容は。

答 現在の税や使用料等の口座振替については、庁内でデータをフロッピーディスクに落とし、職員が市内の各金融機関を訪問し、フロッピーディスクを預け、その後、口座振替され書き換えられたものを回収している。これは職務の効率性からもセキュリティ上からも問題があると考え、電信で全てやりとりを行うクラウド口座振替取りまとめサービスを導入するもの。

ペイジー口座振替受付サービスについては、現在、金融機関に出向いて紙ベースにて口座振替の申請をしているが、導入後は市役所等にキャッシュカードの読み取り機を設置し、暗証番号を入力してもらいだけで口座振替の申請受付ができるというもの。

問 クラウド事業およびペイジー事業の事業費はいくらか。

答 クラウド口座振替取りまとめ

サービス業務委託料は41万9千円。ペイジー口座振替受付サービス業務委託料として約347万円で県補助金は約152万7千円が見込まれる。

問 補正予算約12億円のうち、9億1千円が基金積立、その考え方は。

答 財源は繰越金、地方交付税などの決定したことによるもので歳出としては各課から要求を受け、ある程度事業を振り分けた上で、残額を大規模事業に備えた形で積み立てたもの。

問 子育て応援基金3億円の目的は。

答 基金の上限はまだ見込みがついていないが、今回の補正予算で学童保育室の設計、第2保育所の基本設定をしていく中で、建設事業に係る財源が見込めたところで、ソフト面の事業をどのように展開していくか形になっていく。その時点で積み立てがどのくらい必要か見えてくるものと考えている。



文教厚生常任委員会

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第40号)

問 交通安全対策費の中の報酬で交通指導員の報酬が428万4800円になっており、前年比8万3200円減になった理由は。

答 交通指導、立哨関係を行っているが、市民まつり、夏祭りといった特別勤務関係等の回数が少なくなった。

問 災害見舞金24万円が支出されているが、災害見舞金の内容は。

答 平成25年度は合計で支出案件が4件あり、そのうち全焼が2件、浸水が2件、合計24万円、単価は全焼10万円、床上浸水の場合が2万円。

問 保健福祉総合センターの床メソテナンス方式で、平成17年から約10年経つが、レンタル方式で良かったのか。

答 過去の書類などを確認すると、毎年、委託料として5%下がっていくこと、床タイルが傷んだ場合にはすぐ差し替えられるなど多くのメリットがあるということでのレンタル方式を選んで良かった。

平成25年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第41号)

問 歳入決算額が80億1881万9513円、歳出が75億374万6963円で、国保税、保険税収入を見ると、前年度と比べて減になった理由は。

答 平成24年度の現年調定額が16億3416万3100円で、平成25年度の現年調定額が16億978万3800円で約6.9%減少している。



幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 (議案第50号)

問 この条例は子育て関連3法で新しい国の動きの中で決まったものと聞いている。幸手市には該当する事業者は現在無いが、今後対象として可能性はあるか。

答 可能性はあると思う。この条例は0歳から2歳が対象なので、これから立ち上げようとしているかもしれない。

幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(議案第51号)

問 認定こども園の保護者の捉え方、市民の捉え方、私立保育園と違った認定こども園の位置を聞く。

答 認定こども園は、幼稚園型と保育園型と有り、新制度では認可保育所と認定幼稚園を組み合わせたいものと考えていただきたい。

幸手市子育て応援基金条例 (議案第53号)

問 この応援基金は子育て支援を積極的に進めるための基金であるとしているが、第2保育所などハード面の建物の件であれば、公共施設整備基金で賄えるのでは。

答 この基金を創設する目的は、条例第1条にあるが、市の子育て事業を発展させるため、ハード事業とソフト事業を一体的に展開したいことから、一般財源では事業予算を継続的に担保することが困難と判断し創設した。

幸手市立図書館条例の一部を改正する条例 (議案第54号)

問 図書館を指定管理者制度に適合するため条例の改正を目的としたものであるが、指定管理者制度とすることで市民に対してどのようなメリットがあるのか。

答 基本的に指定管理者制度を導入することによって経費の削減を含む効率的な運営と市民サービスの向上が考えられる。図書館は利

建設経済常任委員会

益を生む施設ではないので、経費の削減に重点を置くとサービス低下につながる可能性があることから、

ら、現状の経費でいかにサービスを向上させるかという点を視点に導入を進めていきたい。

築造基礎工事、沈砂池のポンプ棟耐震補強工事、水処理施設設計業務等である。

答 全国規模の4大会のうち、2か所を中途に参加を考慮しており、中部国際空港で開催される大会に初参加をするための負担金である。

平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定 (議案第40号)

問 特産品(幸手ブランド)販売促進業務委託料の内容は。

答 幸手市のお米を主とした特産品をつくるために特別栽培米を農協に委託して栽培している。粒がそろい、食味値の高いものをプレミアム米とし、農家の方の収入を増やすことを目的としている。

問 商店会の街路灯の点灯および消灯の設定・操作は。

答 街路灯にはセンサーがついており、一定の明るさで自動的に点灯・消灯する機能になっている。誤作動等も含め、点灯したままの情報が入った際には、市役所または商工会から管理している各環境整備組合に連絡し、修理をお願い

いしている。

問 関東国道協会負担金4万円は定額か。

答 1都8県320市町村が加入しており、規約により市は4万円となる。

平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第45号)

問 中川流域下水道事業負担金の増額理由は。

答 この事業は15市町で運営されており、平成25年度は新規事業が増えたことで増額となった。

問 新規事業の内容は。

答 三郷市にある中川流域下水道の処理場の第2沈殿池ポンプ棟の

平成25年度幸手市水道事業会計決算の認定 (議案第46号)

問 逆ざやの解消は。

答 出来る限り逆ざやを少なく、かつ無くなるのが理想と考えているが、給水収益については使用水量が減ってきているため上がる見込みはない。給水原価を下げるために、総費用をできるだけ小さく抑えるよう切り詰めているが、電気料の値上げや資材単価の高騰等により、厳しい状況にある。

平成26年度幸手市一般会計補正予算 (第2号) (議案第61号)

問 北1丁目地内水路蓋掛工事は。

答 当初予算に計上していたが、工事区間延長の追加要望に応える工事である。

問 ゆるキャラグランプリの参加負担金の内容は。

答 市道は1級が26路線2万5740・5メートル、2級が20路線2万856・4メートルある。農道を含めたその他の道路が46万7792・9メートルあり、いずれも市道として管理をしている。

平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号) (議案第66号)

問 雨水浸水対策調査業務委託料の内容は。

答 100ミリ安心プランへの申請を目標に、埼玉県と河川・下水道事業調整協議会を組織しており、何ミリ降ったら何センチ浸水するかを明らかにする必要から水路幅や地盤の高さを調査するもの。

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が9月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- セカンドブックスタート事業について
- 「軽度認知障害スクリーニングテスト」について
- デマンド交通システムについて
- 有料広告募集について

松本章議員

- 「空き家」への対応について
- デマンド交通実現に向けて
- 駅橋上化・区画整理事業について
- 子育て日本一をめざす教育について

本田謡子議員

- 市営住宅の環境整備について
- 千塚西公園の管理について
- 青少年育成市民会議について
- AEDの設置場所について

小林英雄議員

- ごみ収集について
- 指定管理者制度について

藤沼貢議員

- 住環境の整備について

松田雅代議員

- 2014年度普通交付税の交付算定と幸手市の財政状況について
- 相次ぐ入札不調への対策について
- 高齢者対策について
- 人口減少問題について

小林順一議員

- 小中学生対象の防災教育について
- 高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度について
- 小中学校の普通教室へのエアコンの設置について

大久保忠三議員

- 平和行政の推進について
- 自治会への加入推進について
- 空き家対策の具現化について

宮杉勝男議員

- 幸手市に於いて想定される自然災害について

小河原浩和議員

- 圏央道幸手インター開通について

小島和夫議員

- 防犯カメラの設置について
- AEDの設置場所について

中村孝子議員

- 財政問題について
- 幸手駅西口地区土地区画整理事業と駅舎整備事業について
- 公共施設の維持・整備・管理計画について

木村治夫議員

- 商店街街路灯（環境整備組合）のLED化について
- デマンド交通システム導入について
- 人口減少対策について

武藤壽男議員

- 駅舎整備（自由通路・駅舎）と西口区画整理事業について
- 駅舎（橋上駅舎）の整備について

- 9月定例会 会期日程**
- 9月1日（本会議）
 - ・ 開会・会期の決定・報告事項
 - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
 - 9月2日・3日・4日（本会議）
 - ・ 市政に対する一般質問
 - 9月10日（本会議）
 - ・ 議案に対する質疑
 - ・ 議案の委員会付託
 - 9月11日・12日（委員会）
 - ・ 文教厚生常任委員会
 - 9月16日（委員会）
 - ・ 総務常任委員会
 - 9月18日（委員会）
 - ・ 建設経済常任委員会
 - 9月26日（本会議）
 - ・ 委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・ 閉会

9月定例会

傍聴者					
37の方が傍聴されました。					
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。					
7月	279件	8月	224件	9月	2676件
の方が視聴されました。					

12月定例会のお知らせ

11月28日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp/>

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

セカンドブックススタート事業は



小林啓子議員

Q セカンドブックススタートとは、小学校へ入学する子どもたちに本を送る事業である。

子育てで日本一の目標を掲げる幸手市にとって、セカンドブックススタート事業は必要な事業の一つと考えるが市長の考えを伺う。

A 私は「子育て日本一のまち」を目指すうえで、教育の充実が大きな課題であると感じている。

特に小・中学生が健やかに成長することが、これからの幸手市に大切なことであり、そのための支援は、今後も充実させていきたいと思う。

提案された「セカンドブックススタート事業」は、子どもたちにとって、とてもよい取り組みだと感じたので、十分に検討し

て前向きに取り組んでいきたい。

(市長)



駅橋上化・区画整理事業はどう進む



松本章議員

Q 議会前の議員全員協議会、また8月29日の新聞報道もあったが駅橋上化・区画整理事業について伺う。

(1)現状の進捗状況・今後の見通しについて伺う。(自由通路の拡幅理由・一階階段下の「幸手市施設」の整備内容、区画整理事業の反対者への対応について)
(2)各々の、着工時期・完了時期

について伺う。
(3)旧3番線用地の整備内容について伺う。

A (1)について

橋上駅舎及び自由通路は、鉄道側と設計協議中。自由通路の幅員は災害時の一時退避場所を確保しつつ相互通行を図るため、東側自由通路下は公益施設を想定している。区画整理事業反対者へは今後もしもご理解を求めらる。

(2)について

橋上駅舎および自由通路は平成27年8月着工30年3月完了、区画整理事業は第1期エリアを平成27年度から30年度を目標に整備する。
(3)について
区画整理事業により公園として整備する。



(建設経済部長)

夜間に使えるAEDの設置場所は



本田謡子議員

Q

平成24年12月議会において、「夜でも使えるコンビニでのAED設置を」と要望したが、その後の経過を伺う。

また、現在、夜間に使用可能なAEDの設置場所および、市としての夜間対策を伺う。

A

市内コンビニ18店舗に設置への協力確認を行った

が、コンビニ本部の方針や設置費用の問題、従業員への教育等が難しい理由等から、現在までに設置されていない状況にある。

夜間対策としては、未設置施設や集合住宅等を中心に設置促進を図るとともに、夜遅くまで開館している施設や24時間利用可能な施設においては利用時間を地域住民に周知できるように努めていきたい。また、コンビニ設置については24時間365日利用可能な身近な施設として

有効と考えているので引き続き検討していきたい。

(健康福祉部長)



古紙の持ち去り防止対策は



小林英雄議員

Q

新聞・雑誌などの古紙の持ち去りには、他の自治体も大変苦慮している状況である。市民の方から古紙の持ち去りについて相談を受け、対策として持ち出し厳禁チラシを作ることを提案した。環境課で対応して、平成26年1月号の広報さてに、4枚綴のチラシを折り込み全戸配布された。8か月が

A

配布後の効果は、平成26年の1月と、前年の平成25年1月の回収量と比較すると約17トン多く回収されていることが数量として現れている。

また、市民の皆様からの通報件数は、平成25年度は1年間で7件の通報があったが、平成26年度は現在のところ1件となっている。

経過したが、配布後の効果について伺う。

さらに「活用した結果、持ち去られなかったため、追加でいただいた「等の声もあつたことから、配布後については一定の効果が得られたと考えている。

持去厳禁

これは、「幸手市」に回収してもらう資源物です。幸手市以外の者が持去ることはできません。

(市民生活部長)

農業環境の変化に市はどう対応するのか



藤沼貢議員

Q 市民生活に密着した住環境の整備と、市街化区域と調整区域での公平で均衡のとれた施策、および事業量等がどのようにになっているのか、市長に伺う。

また、農業環境が高齢化に伴い大きく変わってきている。従来の水路管理については農地の耕作者にお願いしてきているが、

A 市街化調整区域における水路等の管理については、地域の担い手が少なく、高齢化もあって、なかなか従来と同様にはいかない現状も承知している。

しかしながら、草刈などの管理については、これからも基本的には地先管理として所有者や耕作者の方をお願いしたいと考

幹線水路等については市が管理するよう検討できないか伺う。

えている。ただし、どうして

も手が足りない部分や、急斜面など危険な箇所は、地域の状況などを考慮しながら、市が実施していくことも検討をしていきたい。



(建設経済部長)

高齢者対策、今すぐ仕組みづくりに着手を



松田雅代議員

Q 独り暮らしの高齢者から集積所までごみを持参することが難しいという声を聞くことが多くなってきた。市で把握している状況、今後の対策を伺う。

また、香日向地内のスーパーマーケット閉店に伴う住民対策、特に高齢者への対策について伺う。

A 独り暮らし高齢者がごみを集積所まで持参することの問題については、ご相談に応じて、介護保険や社会福祉協議会の有償家事援助サービス等を紹介し、対応している。

ごみ収集では他市区町には、清掃局と福祉部門の連携事業などに取り組む先進事例などもあり、今後の仕組みづくりでは、行政のリードが必要と考える。いかがか。

スーパーマーケット閉店に伴う住民対策についても、外出が困難な高齢者に対しては、ご相談に応じて、民間サービスを含めた様々なサービスを情報提供している。

今後については、行政サービスだけでは限界があるため、将来を見据えた方向性を検討したい。



(健康福祉部長)

小中学校の普通教室へのエアコンの設置を



小林順一議員

Q 近年の温暖化により、気温が上昇している状況である、数十年前の環境から大きく変化し、子どもたちが快適に学習するために必要な環境が扇風機などでは対応しきれなくなっている。通学させているご家族、子どもたちからエアコンの設置を要望される声が多く聞かれるようになり、そこで伺う。

全小中学校の普通教室にエアコンを設置する場合の予算を伺う。早期に市内全小中学校の普通教室にエアコンの設置を要望するが所見を伺う。

A 昭和50年から近年の最高気温を見ると気温は上昇傾向にある。

エアコンを設置する場合の予算としては、県内の市の設置例を基に幸手市に当てはめて試算したところ、工事方式では、約



な学校環境を作り
たい。
しかし、多額の
費用がかかるため、
今後導入時期の調
整を行う。

(教育次長)

空き家対策にシルバー人材センターと協定を



大久保忠三議員

Q 空き家等の適正管理に関する条例が可決された。

空き家対策の具体化に向け、シルバー人材センターと協定を結び、空き家対策の推進を図るべきと提案する。シルバー人材センターの入会者は437人、「私たちが適正管理を推進している」。これは入会者の生きがい対策にもつながる。また、空き家所有

者等も安心して依頼できる。
空き家等の近所に住む方たちのためにも早急に対応すべきである。

A 空き家等については、所有者等の高齢化や経済的な事情などにより、今後さら

に増えていくと推測している。
空き家は、所有者が責任を持って管理すべきものだが、所有者が遠方に住んでいて管理できなかったり、修繕・除草なども

個人では難しいとの理由で放置されている場合もある。
すでにシルバー人材センターと協定を締結している自治体があるので、それらを参考に検討したい。

(市民生活部長)



幸手市において想定される自然災害は



宮杉勝男議員

Q 災害については、「地域において過去の歴史に学ぶことが大事」とされているが、その点を考慮した場合で次の四点を伺う。

- 一、幸手市ではどのような災害を想定しているのか。
- 二、平成24年6月議会で答弁した事に対しての結果について。
- 三、想定に対しての対応シミ

ユレーションについて。
四、ハザードマップ改正の進捗状況について。

A 一、地震・台風・河川決壊による洪水・大雨による市内の浸水・竜巻や突風などが想定される。

- 二、東埼玉総合病院駐車場を避難場所として協定を締結した。消防団員の訓練については研究会等の機会を捉えて行う。その他の災害対策についても、今後

実施できるよう努めたい。

- 三、消防団や区長会・自治会などの各種団体との総合的な訓練や図上訓練等の計画を検討する。
- 四、今年度改定を行っている

幸手市地域防災計画に基づき、来年度中に改定する予定である。
(市民生活部長)



来年3月幸手インター・インター連絡線開通



小河原浩和議員

Q 市民待望の圏央道幸手インターがいよいよ来年3月開通の運びとなった。開通イベント等のスケジュールを伺う。

また、側道部分の幸手インター連絡線も同時に開通するが、それと交差する主要な生活道路が現状と同じように横断できるのか。それとも市道からは左折のみになるのか。開通後の状況

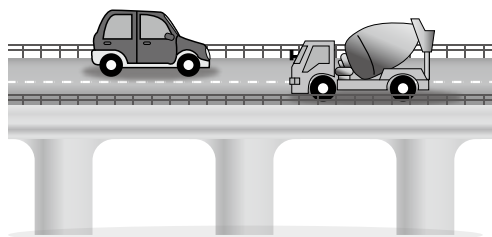
について伺う。

A 圏央道の幸手市区間においても高架橋上部工の工事が進められており、11月頃からは東日本高速道路(株)において道路表面の舗装工事や防音壁の工事が行われる。開通については、幸手、五霞、境古河ICと同時になるので、3月末頃の予定となっている。

また、開通の2週間前を目安に、開通プレイベントを実施す

る予定である。

幸手インター連絡線と交差する市道のうち、横断ができるのは7路線となっており、その他の市道は左折のみとなる。
(建設経済部長)



市民の生命財産を守るため防犯カメラの設置を



小島和夫議員

Q

幸手市の犯罪や放火・交通事故を減少させるため、市民の生命・財産を守るため、また、市民が安心安全に暮らすためにも防犯カメラの設置が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

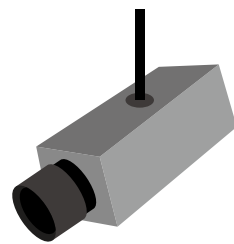
A

防犯カメラの設置は、設置箇所の周辺での犯罪発

生をある程度抑止できると思われ、実際に犯罪が発生した場合には、犯人の特定・逮捕にも効果が期待でき、有効であると考えている。

しかし、公衆街頭に設置される防犯カメラは、不特定多数の方が録画されるので、その方々のプライバシーの保護や、肖像権といった問題が生じる。

防犯カメラの設置については、関係機関とも協議し、慎重に調査・研究をしていきたい。(市長)



駅西口開設時の県道幸手久喜線の安全確保は



中村孝子議員

Q

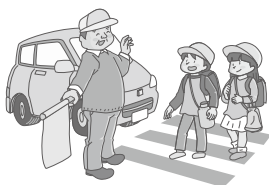
市民の西口地区区画整理事業への期待は、一に自由通路により駅東西が繋がること、二に幸手久喜線が拡幅され安全になること、三に面整備により良好な住環境が生まれることである。現状のままでの、西口開設時の幸手久喜線の安全確保は。また、区画整理計画の中で幸手久喜線沿線は最後の3期

A

県道幸手久喜線については、南3丁目側は区画整理事業で幅員3.5mの歩道整備を行う。また、中5丁目側は埼玉県において幅員3.5mの歩道の整備が見込まれている。

駅西口開設時点では歩道は未整備の状態であるが駅利用者の交通量は分散され県道の交通量は若干減少するものと想定している。今後は埼玉県へ歩道整備の早期実現の依頼や区画整理事業の順調な進捗を図りたい。また、必要に応じて事業計画等を提示していきたいと考えている。

(建設経済部長)



デマンド交通システムの実施時期はいつか



木村治夫議員

Q 平成8年1月より現在の市内循環バス運行が開始され18年経過し、使用者はピーク時の半数以下に減っている。

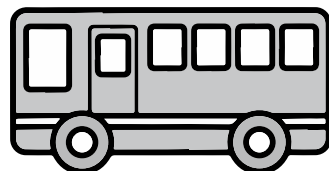
市は平成27年度中に有料予約制のデマンド交通システムを実施すると、市民2000人にアンケート調査を行った。市の高齢化率は27・7%と急速に進行している。公共交通は交通弱

者の救済、公共施設への市民の足確保、通学移動手段として、多目的に活用され多くの市民に利用されなければならぬ。現在の課題を解決し、いつから実施するのか。

A デマンド交通システムの導入を含めた市内公共交通網の計画策定を行っており、これまでに公共交通に関するアンケートや、市内循環バス利用者へのアンケートを実施した。

これらの集計や市民の交通移動実態などの現状分析を行い、課題解決のための案を作成中である。今後は、庁内審議を経て、11月にパブリックコメントを、12月から幸手地域公共交通会議を開催し、平成27年度中のデマンド交通の運行実施を目標に進めている。

(市民生活部長)



営利企業の東武幸手駅舎は税金で造るべきか



武藤壽男議員

Q 本市は、市民の皆様のご健全化計画を経て、財政状況も改善されてきた。しかし、人口減少、就労人口の減少、景気の不透明の中で依然として厳しい状況にある。

一方、民生費の増高、安心安全のための管理責任のある老朽化した施設や橋りょうの改修、

道路の整備など、課題は山積している。

鉄道運輸事業を主とし、多額の利益を計上し株主に配当をする東武の駅舎を、市が国補助金が未確定のまま、13億円余の税金全額負担で実施すべきことなのか。

A 駅舎整備は西口土地区画整理事業、自由通路と併せて公共性公益性の高い事業である。東武鉄道へ整備依頼をし

たが予定がないことから市による整備を求められている。この事業については国の補助金を活用しながら本市が整備をするが、他の市町村の事例を見ても同様に整備しており、やむを得ないものと考えている。

また、司法の場である裁判では自治体が様々な考慮のもと政策的に公益上必要との判断により整備費を負担することに違法性はないとしている。

(建設経済部長)

平成26年9月定例会 提出された議案の結果

(市長提出議案) 先進…先 公明党…公 改革…改 新政会…新 自民党…自 明政…明 民主党…民 社民党…社 無所属…無 (○:賛成 ×:反対 退:退席)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	本会議 議決結果
		松田 雅代(先)	小林 啓子(公)	本田 謡子(改)	小河 原浩(改)	小林 英雄(新)	木村 治夫(自)	宮杉 勝男(新)	松本 章(新)	中村 孝子(先)	小林 順一(公)	藤沼 貢明(明)	手島 幸成(民)	小島 和夫(明)	武藤 壽男(無)	大久 保忠三(社)		
議案第39号	平成25年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第40号	平成25年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員認定
議案第41号	平成25年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第42号	平成25年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第43号	平成25年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第44号	平成25年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第45号	平成25年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第46号	平成25年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第47号	幸手市国民保護協議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第48号	幸手市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第49号	幸手市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第50号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第51号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第52号	幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第53号	幸手市子育て応援基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第54号	幸手市立図書館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成多数可決
議案第55号	幸手市市営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第56号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第57号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第58号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第59号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第60号	区域外道路の認定の承諾について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第61号	平成26年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第62号	平成26年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第63号	平成26年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第64号	平成26年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第65号	平成26年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第66号	平成26年度幸手市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第67号	平成26年度幸手市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第68号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第69号	監査委員の選任について	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	—	賛成多数同意

(議員提出議案)

意見書案第1号	「手話言語法」制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
---------	------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

議会広報編集委員

- 委員長 武藤 壽男
- 副委員長 手島 幸成
- 委員 大久保 忠三
- 委員 小河原 浩和
- 委員 木村 治夫
- 委員 小島 和夫
- 委員 小林 順一
- 委員 松田 雅代
- 委員 松本 章

編集後記

秋が日に日に深まって、すぐそこに冬の足音が聞こえる季節となりました。文化の秋、芸術の秋、スポーツの秋。秋は様々な行事が目白押し。いろいろな活動に参加すると、思わずまちの伝統を感じたり、違う世代から新たなエネルギーをもらったりします。国では、これから「地域創生」をキーワードに地方都市を元気にしていこうと計画しています。老若男女がともに交流し、元気な幸手市をみんなで作っていきましょう。